

あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしく願い申し上げます

ふくろ幼稚園教職員一同

子どもの声を聴くこと

園長 篠澤 恵理

新しい年を迎えた幼稚園に、子どもたちが描いた「大根の絵」を飾りました。幼稚園の畑で収穫した大根は、大きさや形が様々でした。子どもたちは、大きな紙の横にそれぞれが掘った大根を置き、色や形をよく見ながらじっくりと描いていて、一人一人の表現も様々になりました。同じものを見ても、感じる心の違いが豊かに表されていて、とても素敵でした。

完成した絵を見ながら、子どもたちに描いていた時の気持ちを聴いてみると、「本物と同じように描いた。」「白と葉っぱ（緑）だけだと寂しそうだから、黄色と白を混ぜた色とか、緑と白を混ぜた色とかで塗ってみた。」など、青首大根の色の違いを本物のように描きたいという気持ちが伝わってきました。また、「葉っぱの硬いところと柔らかいところを分けて描くのが難しかった。」「葉っぱの形が、もじゃもじゃしているから丁寧に描いた。」「葉っぱの色が違っているところを表した。」など、苦労したところや、考えながら描いたことを振り返っている子もいました。中には、完成した絵を見ながら、自分の行動に改めて意味を付けたり、無意識でしていたことを自分の言葉で話したりする子もいました。これは、担任との対話を重ねていくうちに、自分の行動を少しずつ思い起こしながら言語化しているのです。たとえ後付けであっても、頑張った自分を振り返ることができる大切なやり取りであり、自信をもつきっかけになっていると感じています。

さて、本園で今年度実施している「ポートフォリオ（成長の記録）」の取り組みでは、好きな遊びや行事の写真に、その時の感想を添えて作成しています。感想を聴く際に、面白がったり、認めたりするような肯定的なまなざしがあると、子どもは安心して自分の行動の中の「よさ」を見つけて自信をもち、もっと話したいと思いつながりながら振り返れるようです。子どもたちの行動に共感しながら「何を頑張ったのか。」「何を難しいと感じていたのか。」など、心の声を丁寧に聴き取ることで、子どもが自分の言葉で語る力を育んでいかれることを願っています。今年も、職員一同、子どもたちの心の声を丁寧に聴き取りながら、一人一人が自己を発揮できるように支えてまいります。本年も、温かいご支援をよろしく願い申し上げます。

《今月のめあて》

5歳児 ・学級全体の課題に向かって、友達と考えを出し合い、協力して取り組み、満足感を味わう。
もり組 ・いろいろな遊びの中で文字や数に触れ、自分の力を十分に発揮して遊ぶ楽しさを味わう。

今月の歌

☆ ゆげのあさ ☆

1 おはよう おはよう ゆげがでる はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ きしゃぽっぽ みたいで ゆかいだな	2 こどもも おとなも ほら いぬも はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ きしゃぽっぽ みたいで ゆかいだな	3 おはよう おはよう みんな おいで はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ きしゃぽっぽ しゅっぽっぽで あそぼうよ
---	--	--